

# 北里大学理学部同窓会報

2021年 第24号



K04154 : 北里柴三郎肖像写真(学校法人北里研究所 北里柴三郎記念室所蔵)

1910年頃の北里柴三郎博士、57歳（北里柴三郎記念室より）

## ● CONTENTS ●

会長挨拶……………	P 2	特別企画「北里柴三郎博士が追い求めたもの」…	P 10
新任挨拶……………	P 3	近況報告バトンタッチ……………	P 11
退任挨拶……………	P 4	活躍する同窓生……………	P 14
2020年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 5	理学部事務室より……………	P 15
就職ガイダンス……………	P 7	就職センター／同窓会からのお知らせとお願い…	P 16
理学部への寄付金について……………	P 9		

理学部同窓会ホームページ：

<https://kitasato-rigaku-d.jp> または <https://北里大学理学部同窓会.jp>



## 「任期最終年度は特別な一年」

理学部同窓会会長 沼上 清彦  
(HC6)

皆さまには、大過なくお過ごしのことと拝察申しあげます。新型コロナウイルスの影響はいかがでしょうか。

母校北里大学（以下、大学）ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学位授与式や入学式が中止になるとともに、7月現在、多くの学部で講義はオンライン形式、実験・実習は分散登校で実施されています。

当然、大学としても感染防止策を講じていますが、学内でも感染者が発生しており、前述のように校内への立ち入り制限は解除されているものの、課外活動や私的な国内外の移動については、継続的な自粛が求められています。

なお、大学は2020年3月19日に「COVID-19対策北里プロジェクト」を立ち上げ、国内外既存承認薬の探索研究の実施をはじめとした複数のプロジェクトを全学的体制で実施し、COVID-19患者の救命を目指しています。詳細は下記URLをご覧ください。

<https://www.kitasato.ac.jp/jp/about/activities/covid-19.html>

理学部は今年度学部長選があり、真崎康博教授が再任されました。また、学科長は以下のとおりです。

物理学科長(研究委員長兼務) 小寺義男 教授  
化学科長(教育委員長兼務) 石川春樹 教授  
生物科学科長(就職委員長兼務) 太田安隆 教授

また、物理学科のフォトンクス講座には、吉國裕三教授の後任に岡寿樹教授が着任されました。

さて、本会ですが、2020年度の定期総会は、新型コロナウイルス感染の問題から、旧衛生学部そして理学部同窓会を通じて初めての書面審議になりました。

しかも、定期総会はこれまで5月に開催されて

いましたが、今回の書面審議は7月にずれ込んでしまいました。これは定期総会が年に一回のことでもあり、また、重要案件を抱えていたため、できれば対面方式で開催したいとの思いがあり、感染状況を注視しつつ、事業計画や予算執行に支障を来たすことがないタイミングで書面審議を選択したことによります。

この議案書の作成時点では、すでに感染の第二波を思わせる状況が見られたため、直前の理事会で当初予定していた事業計画の一部を中止にするなどの対応を余儀なくされました。

特に、今年度事業の柱の一つであった、本会が担当する「北里大学同窓会公開講演会」の開催については、主催者である大学同窓会へ次年度への開催延期を申請して、了承されています。

話は遡りますが、2019年4月に理学部そして医療衛生学部の創立25周年の記念イベントが開催され、これに協力をさせていただくとともに、定期総会でご承認を賜りました寄付金を理学部へ贈呈させていただきました。

今般の定期総会議案書には、これに対する理学部からの「寄付金の使途報告書」を提示し、教育設備や災害備品等の整備に有効に活用していただいた旨のご理解を得たものと考えています。

現在、私たち第9期役員は任期最後の年度を迎えており、次年度の定期総会では改選が予定されており。

ところで不肖私は、15年もの長きにわたり、本会の会長の重責を務めてさせていただきましたが、これを機に退任をさせていただくことしております。

これまでご高配を賜りました真崎学部長はじめ歴代学部長や教職員各位、そして会員の皆さまのご厚情に深く謝意を表する次第でございます。



## 教授就任の御挨拶—応用物理学との出会い

物理学科フォトリニクス講座教授 岡 寿樹

この度、2020年4月1日付けで物理学科フォトリニクス講座の教授を拝命致しました、岡寿樹です。御挨拶を申し上げるとともに、この場をお借りしてこれまでの研究活動を、自己紹介を兼ねて振り返ってみたいと思います。

出身は北海道札幌市です。幼少期から科学に興味があり、特に宇宙関連の本を好んで読んでいた記憶があります。高校生の頃だったと思いますが、北海道出身の宇宙飛行士 毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙へ行く姿を見て、興味は宇宙から宇宙工学へと変わり、大学進学を考える頃には物理学と最先端科学技術の両方を広く学びたいと思うようになっていました。当時はインターネットもあまり普及していませんでしたが、大学の学科を自分なりに調べ、そこで初めて応用物理学という学問があることを知りました。これが応用物理学との出会いです。

大学は地元の北海道大学に進学し、学科は迷わず応用物理学科を選びました。学部学生の頃、カオスやフラクタルといった数的手法で生命現象を解析する研究が流行っており、私もジェイムズグリッグの「カオス—新しい科学をつくる」という本を読んで御多分に漏れず感化されたのを覚えています。この頃から、いつかは生命・生体現象を物理学で解き明かしたい、と強く意識するようになったと記憶しております。

転機が訪れたのは、博士学生として北海道大学電子科学研究所の笹木敬司先生の研究室に進学したときでした。当時、研究室の助教授だった竹内繁樹先生（現京都大学教授）と博士研究員のホフマンホルガ博士（現広島大学教授）の下で、光子を用いた量子情報の研究を始めたことがきっかけです。ホルガ博士に叩き込まれた量子光学と共振器量子電気力学理論は20年近く経った今でも私の研究ツールとなっています。ここで「光」を研究

対象にしたことが、後のJSTさきがけ研究にも繋がりました。

北海道大学で博士号を取得後、約8年を大阪で（大阪府立大学、大阪大学）、その後6年を新潟大学で過ごしました。大阪府大では石原一先生（現大阪大学教授）の下で、半導体励起子系の光物性と量子もつれ光生成に関する研究を、阪大では安食博志先生（現東京電機大学教授）の下で、半導体微小共振器系による光のスクイーミングの研究に携わりました。ちょうどこの頃、JSTのさきがけ研究に応募し、増原宏先生（台湾国立交通大学教授）が総括の研究領域に、光合成系の量子論とコヒーレント制御に関する研究課題が運良く採択され、予てからの生命・生体現象と物理学の融合研究に着手できました。最近では、2光子吸収、局在表面プラズモン、光ピンセット、光渦、超伝導磁束量子の回路QEDなど、様々な研究分野に手を伸ばしておりますが、これもあの時「光」研究に携われたからだと感謝しています。

ここ数年、巷では量子生物学なる研究分野が流行りだしているようです。生命と量子力学（物理学）の融合、まさに私が学生時代に強く意識した研究対象です。私の研究室を希望して配属された学生もジムアルカリーリの「量子生物学」に感化されてこの研究室を選んだとか。学部学生時代の自分が思い起こされました。応用物理は、真理探究と工学応用（実学）の両立を目指す学問です。光を用いた応用物理研究に尽力し、本学の理念にある「いのちを尊び、生命の真理を探究し、実学の精神をもって社会に貢献する」を実践すべく教育研究に邁進していく所存です。コロナ禍での着任となり、既に多くの皆様方にはお力添えを賜り感謝申し上げます。改めまして皆様方のご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



## 北里での13年半

物理学科フォトンクス講座前教授 吉國 裕三

本年3月末をもちまして理学部物理学科を定年退職いたしました。在任最後の4半期がコロナ禍と重なってしまい、御世話になった皆様に御挨拶もせず北里を去ってしまい大変申し訳なく思っております。教員、学生の皆さんは今も、授業、実習のスケジュール調整などで大変な時期を過ごされていることと思いますが、前例のない事態です。健康に充分留意しご自愛下さい。

私が着任したのは2006年10月で、学部の基礎は出来上がっておりこれまで退職された教授が学部発足時の立上げに大変な御苦勞をされたのと比べれば相当楽をさせて頂いたと申し訳なく思っております。私の在任期間はむしろ外部状況の変化への対応が最も重要で、着任2年後のリーマンショックによる就職状況悪化、2011年3.11の大震災、大学の地方分散に伴う定員減、そして現在のコロナ禍と外部からの刺激に対応することに追われていました。

私の在籍期間は13年半で比較的短期でしたが、その間にも北里のキャンパスは大きく変化しました。着任した頃は、L1号館、病院ともに古い趣のある建物で、特に旧L1は上空から見ると十字架のように見えるように設計されたと聞いております。今ではどちらも近代的でシンプルな建物になっていますが、旧L1や病院の建物の中でよく迷子になっていた事を今でも懐かしく思い出します。新L1号館は完成した翌年に3.11の大震災に見舞われましたが、外部の溝を塞ぐ鉄板が大きくずれ地震の大きさを示すだけで内部はほとんど揺れず、除震構造の威力を示していました。体育館もでき、キャンパスのレイアウトは大きく変わりましたがS号館の周りは比較的变化は少なく、今でも入学の時期には桜並木が綺麗に咲き誇っております。又、裏にあるバーベキュー場は健在で何度も利用させて頂きました。学内の工事は続いており数年後にはキャンパスも一変すること

と思いますが、S号館周りのこのような風景が出来ただけ保たれば良いなと思っております。

同窓会の皆様には、就職ガイダンス、卒業記念パーティでの卒業功勞賞など学部運営に欠かせない御助力を頂きましたが、「学部の卒業生」という観点で見ればより本質的な所で多大な御助力を頂いていると思っております。在職中は、どうすれば学部・学科の評判が上がるかを良く議論しましたが、結局のところ「卒業生が社会で大活躍している」という評判を得ることしかないように思えます。私が着任した当時は、開設後あまり時間がたっていなかったため社会の中核で活躍する卒業生がおらず、現役の学生は就職で苦勞することも多かったように思います。その後、現在の様に就職状況が良くなってきているのは卒業生の皆さんが社会の様々な分野で活躍されていることを反映しているのだと思っております。ですから、卒業生の皆さんの活躍はご本人だけでなく母校にとってもとても重要であることを自覚していただきたいと思っております。今後、学生にとっては景気後退による就職難、大学にとっては少子化による志望者減と大変な時代が続くと思っておりますが、卒業生の皆様がそれぞれの会社等で社会の中で御活躍されることで、これらの問題点を克服できると期待しております。

### 追伸

すでにお聞き及びの方も多いと思いますが、フォトンクス講座について極めて残念な御報告をしなければなりません。講師としてご活躍されていた金本明彦先生が2020年2月3日にご逝去されました。金本先生は2000年の着任以来、授業や実習はもちろん就職・進学支援など様々な方面で熱心に学生の指導を行い、慕われてきました。沢山の卒業生に見送られ旅立たれたことをご報告し御冥福をお祈りいたしたいと思っております。

# 2020年度理学部同窓会定期総会報告

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年度北里大学理学部同窓会定期総会は「書面審議」として開催いたしました。

2020年度定期総会（書面審議）の議案の賛否は、所定の回答書の返送もしくはURLまたはQRコードからインターネットによる回答のいずれかとし、回答期限は、郵送による場合は2020年7月15日（水）必着とし、インターネットを利用した場合は2020年7月15日（水）15：00までとしました。

総会の成立要件は、規約第15条第1項第2号により、「総会の成立は構成員の3分の1以上の出席を必要とする。」と規定されており、今回の書面審議においては出席者の扱いを期限までに回答のあったものとしました。

審議の取りまとめは、2020年7月18日に全理事20名（委任状を含む）による「2020年度定期総会（書面審議）の表決を取りまとめる会」を開催し、本定期総会が理学部同窓会規約（以下、「規約」という。）第15条第1項第2号に規定する定足数を満たすとともに、提案された全議案が原案通り、全会一致で可決されたことを確認しましたので、報告させていただきます。なお、回答の回収率は61.4%、議決結果は以下の表の通りでした。

議決	報告事項	議決事項			回答数	構成員数
		第1号議案	第2号議案	第3号議案		
可	78	78	78	78	78	127
否	0	0	0	0		
回答様式	オンライン	48	定足数：規約第15条第1項第2号（43人以上） 可決数：規約第15条第1項第4号（40人以上）			
	郵送	30				

単位：人

以下に2020年度理学部定期総会（書面審議）の概要を示しました。

## 1. 開催日時・場所

日時：2020年7月18日（土）15：00

場所：北里大学理学部S号館大会議室

## 2. 議長団の選出

公正な議決と議事録の対応にあたるため、以下の議長団を選任  
議長 連沼良一（総務担当副会長）

議事録署名人 須貝昭彦（財務担当副会長）、甲斐恒人（事業担当副会長）

## 3. 表決対象議案

報告事項：

### (1) 2019年度事業報告

#### 1) 会報の発行

同窓会報第23号（通算49号）2020年1月31日（金）に6,380部を発行。

#### 2) 学部教職員との懇談会の開催

2019年7月6日（土）18時から、小田急ホテルセンチュリー相模大野において、理学部教職員と本会役員との懇談会を開催し、相互の理解を深め、連携を強化した。

#### 3) 会員集会への援助

同期会及びOB会が6件

#### 4) ホームページの更新

#### 5) 会員情報の管理

#### 6) 第25回就職ガイダンスの開催（2019年度理学部就職ガイダンス共催）

2019年10月23日（水）、L1号館41講義室に於いて、理学部との共催で第25回就職ガイダンスを開催。

#### 7) 理学部若手教員学術集会への支援

#### 8) 第57回北里大学同窓会公開講演会（三水会担当）への協力

#### 9) 第14回「卒業研究功労賞」の表彰

#### 10) 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）

#### 11) 理学部創立25周年記念事業への協力

#### 12) 退任教授への花束贈呈

## (2) 2019年度収支決算報告

自2019年4月1日 至2020年3月31日

収入の部 (単位：円)

費目	① 予算	② 決算	増減 (②-①)
学部還元金	4,860,000	4,860,000	0
年会費	300,000	330,000	30,000
会報送料補助	415,000	415,000	0
利子	1,000	603	△ 397
前年度事業資金	500,000	500,000	0
雑収入	0	17,000	17,000
積立金戻入	4,500,000	4,500,000	0
前年度繰越金	1,410,462	1,410,462	0
合計	11,986,462	12,033,065	46,603

## 支出の部

(単位：円)

分類	大項目	中項目	① 予算	② 決算	増減 (②-①)	
運営費	会議費	総会費		936,960	1,477,207	△ 172,793
		理事会費	1,650,000	375,052		
		委員会費		165,195		
	事務局費	事務人件費		1,299,565	1,450,053	△ 279,947
		通信費	1,730,000	44,300		
		物件費		98,891		
		雑費		7,297		
	渉外費	慶弔費	300,000	47,458	59,130	△ 240,870
		交際費		11,672		
	事業費	集会援助費		200,000	93,800	△ 106,200
会報発行			1,350,000	1,195,524	△ 154,476	
就職ガイダンス			740,000	596,760	△ 143,240	
教職員との懇談会		懇談会費	250,000	211,799	△ 38,201	
学部への寄贈品		図書	0	0	0	0
		物品	0	0	0	0
講演会協力費		担当手当	100,000	27,280	△ 72,720	
学術集会補助			50,000	50,000	0	
卒業研究功労賞			120,000	120,000	0	
カミングホーム			0	0	0	
準会員支援		卒業祝賀会協賛金	150,000	0	△ 150,000	
ホームページ		プロバイダー費	50,000	35,192	△ 14,808	
25周年記念	寄附	5,125,000	5,064,800	△ 60,200		
積立金		0	0	0		
次年度用事業資金		0	0	0		
予備費		171,462	0	△ 171,462		
合計		11,986,462	10,381,545	△ 1,604,917		

次年度繰越金 1,651,520

## 貸借対照表

2020年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	4,753	前期積立金	8,470,638
郵便貯金	246,456	次年度繰越金	1,651,520
普通預金	2,460,449		
事務局用普通預金	305,798		
定期預金	7,104,702		
合計	10,122,158	合計	10,122,158

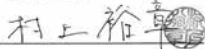
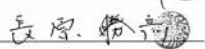
(3) 2019年度監査報告

監査報告書

北里大学理学部同窓会規約第9条第4号の規定に基づき、2019年度(自・2019年4月1日 至・2020年3月31日)の会計ならびに事業の執行を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

2020年4月13日

北里大学理学部同窓会

監事   
 監事 

議決事項：

第1号議案 新代議員選任の件

学部から推薦された2019年度卒業生(理学部23期)の新代議員

3名の選任が提案された。

- ・物理学科 加藤弘規さん
- ・化学科 小宮隆寛さん
- ・生物科学科 小寺穂乃花さん

第2号議案 2020年度事業計画書の件

1) 会報の発行

同窓会報第24号(通算50号)を2021年1月に発行する。

2) 会員集会援助の継続

同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。

3) ホームページの運用

- ①新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。
- ②SNSでの情報提供に関して検討する。

4) 会員情報の管理

本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。

5) 第26回就職ガイダンスの開催(理学部と就職ガイダンスを共催)

2020年10月に理学部3年生、修士1年生および博士2年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。

6) 理学部若手教員学術集会への支援

理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」に対して援助する。この会の活動は、理学部も認知しており、理学部(自己点検委員会)から業績の評価対象になっている。

7) 第15回「卒業研究功労賞」の表彰

卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。

8) 準会員事業への協力(卒業記念パーティー)

卒業記念パーティーに祝い金を持参する。

9) 学部同窓会設立記念イベントへの協力

2020年度内に予定されている看護学部同窓会創立30周年(開催期日未定)および獣医学部同窓会設立50周年(7月4日開催)のイベントに出席し、祝い金を持参する。

第3号議案 2020年度収支予算書の件

自2020年4月1日 至2021年3月31日

収入の部

(単位：円)

費目	① 2020年度	② 2019年度	増減(①-②)
学部還元金	4,894,000	4,860,000	34,000
年会費	300,000	300,000	0
会報送料補助	425,000	415,000	10,000
利子	1,000	1,000	0
前年度事業資金	0	500,000	△ 500,000
雑収入	0	0	0
積立金戻入	0	4,500,000	△ 4,500,000
前年度繰越金	1,651,520	1,410,462	241,058
合計	7,271,520	11,986,462	△ 4,714,942

支出の部

(単位：円)

分類	費目	① 2020年度	② 2019年度	増減(①-②)
運営費	総会費	430,000		
	理事会費	550,000	1,080,000	1,650,000
	委員会費	100,000		
	事務局費	1,350,000		
	通信費	50,000	1,730,000	1,730,000
	物件費	300,000		
	雑費	30,000		
事業費	慶弔費	200,000	300,000	300,000
	交際費	100,000		
	集会援助費		200,000	200,000
	会報発行		1,350,000	1,350,000
	就職ガイダンス		740,000	740,000
	教職員との懇談会	0	250,000	△ 250,000
	懇談会費		100,000	100,000
	講演会費		50,000	50,000
	学術集会補助		120,000	120,000
	卒業研究功労賞		50,000	50,000
積立金	ホームページ	50,000	50,000	0
	準会員支援	150,000	150,000	0
	卒業祝賀会協賛金		0	5,125,000
	25周年記念		5,125,000	△ 5,125,000
	寄附		0	
積立金		1,150,000	0	1,150,000
次年度用事業資金		0	0	0
予備費		251,520	171,462	80,058
合計		7,271,520	11,986,462	△ 4,714,942

4. 質問や意見に対する回答

中野勝雄代議員(HC05)：収入の部の1学部還元金、2会報送料補助金、3年会費について、それぞれ説明があった方が良かった。[回答]通常は決算、予算案ともに、口頭で財務担当副会長より内容の説明がありますが、今回は書面審議であったため、ご指摘のような説明欄を設けるべきでした。お詫びします。ちなみに、お尋ねの費目の算出根拠は以下1～3のとおりであり、決算からは「」内の実数が、予算案からは予定数が計算いただけます。

- 1 学部還元金= 17万円×「前年度の10年会費納入者数」+事務局費(180万円)
- 2 会報送料補助金=「会員数」×発行回数×52円
- 3 年会費=3千円×「納入者数」

納入方法：

- 1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合：
  - 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900
  - 店番 029 ■ 預金種目 当座
  - 店名 ○二九店(ゼロニキユウ店) ■ 口座番号 0060155
- 2) 郵便振替の場合：
  - 口座番号：00260-9-60155 ■ 加入者番号：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

# 2021年度 年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動の為に  
2021年度会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円

## 就職ガイダンス

2020年10月28日（水）、L2号館204講義室において、理学部3年生、修士課程1年生、博士課程2年生を対象とした第26回就職ガイダンスが開催され、ミニ講演と集団模擬面接、質疑応答（教職課程について含む）を初めてYouTubeライブ配信しました。

### ガイダンス内容について

- ・ミニ講演「製薬企業での働き方」  
大塚製薬株式会社 高井理恵氏（SC17）
- ・集団模擬面接、講評  
HR コンサルタント 多田素子氏  
太陽ファルマ株式会社 藤田嘉一氏（HC17）

### ・質疑応答

- （事前回収した質問とYouTubeコメント欄に寄せられた質問に対応）  
左記3名と 本会理事 齋藤昂良氏（SB10）



就職ガイダンス様子

## 世相を反映した模擬面接

太陽ファルマ株式会社 藤田 嘉一  
(HC17)

初めて模擬面接を担当させて頂いたのは2011年で、今回で9回目となりました。初期は、授業の無い土曜日（午後）に個人面接方式（学生1名に対して面接官3名）で実施して、次に集団面接方式（学生3～4名に対して面接官2～3名、学部生と院生の2組）になり、2018年より平日開催、今回2020年は、YouTubeライブ配信方式で行いました。毎回、就職担当教授、学部学生課、面接担当官並びに同窓会関係者総出での協議を重ねて、実際の就活時面接に最も近い面接方式を採用して参りました。今回は、コロナ禍の環境下で多用されているWeb面接方式を模擬面接で採用するのが良いと考えましたが、必要な機材等の準備もあるので、無観客でのYouTubeライブ配信方式で実施し、面接方式の変更はありませんでした（Web面接方式：ZoomとかTeamsというWeb会議システムを利用した面接方法）

無観客ライブ配信は、模擬面接を受ける学生さんと面接官は模擬面接会場となる教室におりまして、観衆側の学生さんは、感染リスクの心配ない自宅等で中継画像前におり、質問事項があれば、チャット入力して頂きました。模擬面接を受ける学生さんの緊張感は、面接官にも伝わるのですが、今回は観衆学生さんが対面上にいない為か、例年より低いのかなと感じました。

どのような面接形式であろうとも、準備は万端を尽くす必要があります。ES（エントリーシート）の記載については最重要であります。就勝ACTION! Vol.7～先輩達の就活体験記～（この小冊子配布場所は学部掲示板前）も積極的に活用し自身のESを完成させてください。ESに記載されている項目について面接官より深掘質問を受けますので、丁寧な下調べを行い、要点をPPTにまとめておくとWeb面接時にも役立ちます。

ビジネス現場では、Web会議をコロナ禍以前より本格稼働しておりましたので、新卒採用でWeb面接を利用する事に大きな抵抗は持っていません、面接を受ける学生さん側で接続不備等の事情があった場合、企業側には面接者のマイナス点と判断する可能性があります。使用するNet回線の信頼度を高めておくこと、Web面接自体に慣れておくこと（カメラ写りの顔色確認、マイクの音量、作成したPPT資料を共有画面にアップする操作など）が基本事項であり、疎かにすると、通常のPC作業に不安ありと判断され、不合格の理由付けのひとつになります。

「全力討究の就活」で就勝達成を！

末筆ではございますが、ライブ配信を支援して頂きましたご関係の皆様方に深く感謝申し上げます。

## 『模擬面接を経験して』

分子科学専攻修士課程1年 加藤 彩樹

今回の模擬面接は、これから本格的な就職活動を控える私にとって非常に貴重な経験となりました。私はこれまでに面接の経験がない事を不安に思っていたため、本番の前に自分の弱点を把握しておきたいという考えから参加を希望しました。当日はこれほど多くの聴講者がいらっしゃるとは思っていなかったのですが、本番さながらの緊張感を持って面接に臨むことができました。今回の面接は例年と異なり事前に質問事項を知らされていた

ため、私は原稿を作り暗記した状態で模擬面接に臨みました。適宜追加質問がされることは聞いていたのですが、そちらの方はその場で考えられると思いほとんど対策をしていませんでした。結果、模擬面接では用意していた回答の部分は比較的落ち着いて話すことができたのですが、事前に知らされていない質問をされた際にはその意図まで考えて回答することができませんでした。これによって私は自己分析の甘さを痛感し、自信を持って話すためにさらに入念に準備しなければならないことに気がきました。ここで得た学びは今後の就職活動においても非常に有益なものになることと思います。この度はこのような特別な機会を設けていただきありがとうございました。

## 『模擬面接に参加して』

生物科学専攻修士課程1年 小森 涼奨

初めに、昨今の厳しい状況の中、貴重なお時間をいただき、対面での模擬面接を企画実施してくださった理学部同窓会様、並びに講師、関係者の方々、誠にありがとうございました。

私自身、この模擬面接のお話を頂いた時には一度も面接を経験したことがありませんでした。そんな私が人前で模擬面接なんてできるのかと、このお話を受けるべきか悩みましたが、これもご縁であると思い、参加させていただくことにしました。今年は例年と異なり関係者及び、就活

生役の学生のみが会場で模擬面接をして、その様子をライブ配信するといった形で執り行われました。直接人に見られるのではなく、画面越しであることに普段は感じることもない緊張感を感じました。しかし、近頃はコロナウイルスの影響により、主要な面接形態として、オンライン面接が確立しつつあり、この経験は今後必ず生かされることと思います。また模擬面接の内容もさることながら、講評終了後に講師の方々から丁寧なフィードバックを頂けたことが非常に為になったと感じております。

これから冬季インターン募集が本格的になる中、模擬面接での経験及び、フィードバックで得た改善点をもとに、これからの就職活動を頑張りたいと思います。重ね重ねになりますが、このような大変貴重な機会を与えてくださり、誠にありがとうございました。

## 『模擬面接で学んだこと』

生物科学専攻修士課程1年 田村 史織

模擬面接に参加させていただきましたが、とても緊張しました。早口になってしまったり、事前に考えていた通りに話すことができなかつたりと、面接の練習がまだまだ足りないかと痛感しました。また、こちらが答えた内容に対して、面接官がどのような質問をするのか実際に体験することができ、自己分析や面接で話すエピソードをより具体的に話すことができるように整理すること

が必要だと感じました。当日はガイダンス終了後にも面接官を担当された先生方から個別にフィードバックをいただきました。自己紹介では何を話せばよいのかこれまで分かっていなかったため、大変参考になりました。また、自分が現在取り組んでいる研究内容の説明を、文系出身の人にも分かるように説明することの難しさを実感しました。いままでに企業に提出してきたエントリーシートでも自分なりに分かりやすく書いてきたつもりですが、まだまだ改善が必要だとわかりました。これから選考が始まり、面接を受ける予定があるので、今回のガイダンスで学んだことを参考に練習を重ねて本番に臨みたいと思います。



(大学院生) 左：加藤さん、右から2番目：小森さん、右：田村さん



(学部生) 左：栗原さん、右：横山さん



## 『就職ガイダンスの感想』

物理学科3年 栗原 三朗

この度は就職ガイダンス（模擬面接）と言う機会を設けていただき誠にありがとうございました。まず、最初に率直な感想を述べたいと思います。このガイダンスを経て就職活動における面接でどのような事が聞かれるのか、どのような雰囲気で行われるのかを知ることが出来大変貴重な経験を得ることが出来ました。この模擬面接を志願した時は面接官二人と学生数名で面接を行い、質問数が少ない面接だろうと思っていました。実際は百数

名に見られながら一次面接で聞かれる質問内容の面接だったので、面接体験無しでは少しハードルが高いと感じました。だいぶ緊張しましたが、エントリーシートや模擬面接の講評を受けて、私にとって欠けている点や間違えている点が可視化することが出来たので、この模擬面接を志願して良かったと思っています。本番同様の内容の質問を体験でき、充実した面接体験が出来ました。今後就職活動においてこの経験を活かし、私が第一と考えている企業のエントリーシートや面接対策に励んでいきたいです。またこのようなガイダンスがある時は参加したいです。

この度は誠にありがとうございました。

## 『模擬面接を受けて』

生物科学科3年 横山 悠里

私は進路を就職に決めてからというもの、コロナの影響などもあり本格的に就職活動を始められてなかったため、今回の模擬面接で何か得られればと思い参加させていただきました。当日は、自分が何を伝えたくてどのように話すのかシミュレーションをして望みましたが、実際に面接を受けてみると早口になってしまったり、何を話したいのかわからなくなってしまうことがありました。しかし、その後のフィードバックなどもあったため、

改善点が見つかり、より良い面接ができるようになるためにたくさんご指導をいただきました。今回の模擬面接を受けたことで、インターンシップなどの面接にも必ず生かしていけると感じました。また、エントリーシートの添削もしていただき、自分の文章のうち、どこが良くてどこがわかりにくいのかなどを細かく教えていただきました。今まで添削を受けたことがなく、うやむやのままエントリーシートを書いていたため、新たな気付きがたくさんありたくさん学ぶことができました。今回の模擬面接は私にとってとても大切な経験だったと思います。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

## 理学部への寄付金について



2019年度の理学部創立25周年記念に際し、本会から5百万円を寄贈しました。その寄付をもとに、デジタル掲示板や屋外用ベンチとテーブル、自転車自動空気入れ、災害備蓄品、図書館書籍が購入されました。

# 「北里柴三郎博士が追い求めたもの」

HC14 森 孝之

衛生学部化学科卒の森孝之と申します。学校法人北里研究所北里柴三郎記念室に勤務しています。新型コロナウイルス感染症による医療・経済が混乱するなかで、国民が一致団結し感染が速やかに収束することを願ってやみません。

さて歴史を辿れば人類は常に伝染病と戦い、そして克服して来ました。明治時代、コレラ・赤痢・腸チフス・痘瘡・結核等が猛威を振るう中で、学祖・北里柴三郎博士（1853～1931）は国家国民を守るために細菌学を武器に伝染病に立ち向かいました。取り組むべきは個人的予防法と公衆的予防法を基盤とした医療体制の確立でした。

まずは細菌学、伝染病学の習得です。ドイツ、ベルリン大学のローベルト・コッホ教授に師事した彼は画期的な予防治療法の開発に成功します。破傷風菌毒素に対する抗毒素物質（抗体）を毒素の頻回接種を受けた動物血清中に見出し、この血清が破傷風患者の治療に有効であることを証明したのです。この血清療法の本質は、抗体の移行により得られる受動免疫であり、人体に直接、ワクチンを接種する能動免疫と共に現在でも疾病対策の一翼を担うものです。北里博士は実践应用到に焦点を当てていますが、このように理論の裏付けがあるのです。

次は、研究活動拠点の設置です。ドイツ留学から帰国した1892年、伝染病研究所を設立します。そこでは各研究者に研究テーマを与え、すべて自由裁量に任せていますが実践应用到を念頭に研究せよ、と一本釘を刺しています。伝染病との戦いは時間との勝負です。一日も早い薬剤や予防治療法の完成を国家国民は待っている、と指導しています。彼らも期待に応え、志賀潔による赤痢菌発見（1897年）と感作ワクチンの開発、秦佐八郎の梅毒特效薬・サルバルサン（1910年）、梅野信吉の犬体用狂犬

病ワクチン（1916年）等は伝染病の制圧に向けた強力な武器となりました。

他方、北里博士は衛生行政面でも貢献しています。医学の進歩と海外交易の活発化に伴い、社会情勢に即した法律が必要となりました。国家衛生法の審議機関でもある伝染病研究所の所長として伝染病予防法（1897年）制定に深く関与しております。従来の規則では見落とされていた生活困窮者に対する金銭的補償が加わります。しかし、法律や規則などは国民に理解され、実際の執行・運用が円滑に進まなければ絵に描いた餅です。そこで、彼は伝染病と衛生環境に関する啓発活動のためにポスターや冊子を配布します。過重労働・不摂生・密集居住・不潔・害虫、等を伝染病誘発要因として掲げました。また病原体の正体・予防法・消毒法などの基本的知識の普及にも努めています。

ところが、1914年に大きな変革の時を迎えます。20年間に渡り研究・教育・医療を中心に事業を展開していましたが、国伝染病研究所の所管が内務省から文部省へ移管されたのでした。行政整理・文政統一による決定に異を唱えた北里博士は所長を辞して、北里研究所を創設します。疾病対策には衛生行政との連携が最重要事項と位置付ける北里博士の強い信念を示すものであります。この北里研究所では医学のみならず生命科学全般を網羅する新たな研究活動を始めます。これが北里大学の前身です。1962年に開設された北里大学は、北里博士が終始一貫して追求した「理論に立脚した実践」を根幹とした教養を継承しています。なお、2024年には、新千円札の表紙に北里博士の肖像画が採用されます。母校の歴史にとって大きな慶事であります。



1889年 ドイツ留学中の北里柴三郎博士（北里柴三郎記念室より）

コッホ研究室での北里柴三郎、自身が考案した実験器具を紹介（1889年）  
嫌気性菌培養装置、細菌ろ過装置、マウス飼養器、マウス固定器

# 近況報告バトンタッチ

## 『地方自治と共に40年』

HC6 村尾 光子  
(旧姓：並木)

1971年3月に卒業して、何と50年近くが経ちました。卒業では大腸菌のグリシン tRNA塩基配列を研究し、卒業後の2年間は日立製作所日立研究所でプラスチック絶縁体の開発に係わったものの、その後は化学とは全く無縁に過ごしてきました。

### 近況は

コロナ禍で多くの活動が制限を受けている中、私の日常もいつもと変わってきています。会合は少なく、イベントは中止、セミナーや講演会などはオンラインで、という具合に在宅で過ごすことが多くなり気持ちにゆとりができました。でも、片付けに勤しみ読書に親しんでいる訳ではありません。

私、実はまだ地方議会議員を務めています。そのため、年4回開かれる定例会ごとに資料の勉強、私製報告書の作成と地域へのポスティング、報告&意見交換会の開催。これで一連の仕事が一段落です。時には市民からの相談も聴きます。

次の定例会までの束の間が気分的にほっとできる時で、この時期こそ、日頃できない書類の整理、掃除をすべきなのですが、思うようにできないのが実態です。

かつては文化協会やボランティア団体等の市民団体の運営にも携わりましたが、現在は時間の許す範囲で、環境問題を考える会や自然に親しむ会、生活学校、九条の会などの市民活動に参加しています。

### ノンポリだった私が議員になったわけ

1972年、自治医科大学開学時から教員として赴任した夫と結婚し、翌73年に栃木県南河内町（現下野市）の自治医大構内職員住宅に転居しました。純農村地域に大学が誘致されたのです。当時は大学本館と附属病院、そして職員住宅拡張等の建築工事、直ぐ傍では東北新幹線の建設工事も進められていました。奇遇にもこの構内住宅で化学科の1年先輩、今井幸子さんに再会しました。

職員住宅の住民は他所から移り住んだ人たちばかり、生活上の課題解決のためには自治会を組織して大学当局と交渉しました。あたかも治外法権の地のように、町行政とのつながりが希薄だったのです。構内はフェンスで囲われていたためか、よそ者のためか町の人達との交流も少なく意識のズレも大きいものでした。

7、8年経った頃、「近く町議選があるので、そろそろここから議員を出さないか」と提案する人があり、主婦達を中心に具体的な進められました。立候補者探しの場に参加していた私は、ちょうど再就職を考えていた矢先だったこともあり、「1期だけなら」と言ってしまったことが始まりです。町行政と私たちの思いをつなぐパイプ役ならできるかもしれないと思ったのです。

選挙運動の経験が全く無い主婦達が手探りで「お金をかけずに手間暇かけて」の手作り選挙運動を展開し、議会へと送り出してくれました。1980年、私は31歳、二人

の子どもが5歳、6歳の時でした。以来、JR自治医科大駅の開業、住宅団地の開発など町の様子は様変わりし、私たち一家もニュータウンに転居しました。2006年には3町が合併して下野市となりましたが、幸運にも議員活動を続けることができました。

### 議員活動は学びの連続

「他所から移り住んだ者も町民の仲間に入れて」という始まりは、とりもなおさず住民が主体的に関わるという民主主義の原点でした。それまでの私にとっては『議会は雲の上のこと』でしたが、議員活動を通して生活に密着したことを決めているのは市町村議会であることを実感しました。だから多様な市民の議会への参画がとても大切に、当初の私は女性議員としての先駆けでした。

生活感覚を基本としながらも、議会の仕組みは勿論、課題解決のため法制度やめまぐるしく変化する社会情勢、先進事例も知らなければなりません。学生時代以上に緊張し、真剣に勉強したと思います。

市民主体の民主主義、人権、平等、平和そして自然保護。この自らの価値基準を基に行政チェックと提案を繰り返していますが、課題は尽きることがありません。時には市民団体と連携しての政策提案もします。政党に属さず市民派を標榜しているの、自主研修の場として度々東京の市川房枝記念会にも出向きます。

議員活動の仕方は様々で、それをチェックするのは有権者です。情報提供だけではなく、その判断材料の一助としても議会報告書を発行しています。市民が地方議会や議員活動に関心を持つことが肝要と痛感しています。

こんな人生を送るなんて、全く予想だにしませんでした。誰もが経験できることではなく、これまで継続できたのは選挙運動や日頃の活動を支えてくださった皆さんや家族のおかげで、幸せなことです。長年、小さな自治体の議員として誠実に活動してきたつもりですが、自己満足ではなく、少しでも地域貢献になっていれば嬉しいです。それにしても、子ども達には随分と我慢をさせてしまいました。自立した社会人となり安堵しています。



## 近況報告バトンタッチ

『「七転八起の10年間」私の今までとこれから』

SP15 杉本 愛

皆さま、ご無沙汰しております。2012年度に物理学科を卒業した杉本愛（すぎもとあい）です。先日32歳の誕生日を迎え、大学を卒業してから約10年が経過しました。丁度、節目の年に寄稿のご依頼をいただきましたので、マクロな視点で卒業から現在までのキャリアを振り返ることにしました。

「1を伝えたら3倍で返ってくる」関西文化を体感した新卒時代

私は非線形物理学講座（現：量子物理学講座）の守真太郎先生（現：弘前大学 理工学部数物科学科 教授）の元で卒業研究を終えたのち、北里大学大学院の医療系研究科へ進学しました。きっかけは、「理学部の経験を生かし、精神疾患の研究に携わりたい」と思ったからです。卒業後は、実験試薬でおなじみの和光純薬工業株式会社（現：富士フィルム和光純薬株式会社）の臨床検査薬事業部に学術として新卒入社しました。最初の勤務地は、研究所のある尼崎です。約1年間の関西生活は、神奈川県にしか住んだことのない私にとって、刺激的でした。特に、「1を伝えたら3倍で返ってくる」という関西独特のカルチャーには最初驚きましたが、相手を慮るおせっかいさは今後の自分にも生かしたいと思いました。

2人の先輩が「わたしの生きる」を支えてくれた

ほどなくして東京の本社へ配属となりますが、関西でのびのびと働いていたためか、東京の水が合わず体調を崩してしまいます。約半年間の休職を経て、同社を退職しました。正直、休職期間中は心細いことばかりでした。このときに心配し支えてくれたのが、物理学科の2人の先輩です。彼らと在学期間は重なっていませんが、先生方の紹介で知り合い、そこから親交がありました。2人は精神疾患を大きな社会課題ととらえており、ベンチャー企業のRESVO（レスボ）を立ち上げようとしていました。ありがたいことに、「創業メンバーのひとりとして一緒に挑戦してみない？」と誘ってもらい、私のベンチャーキャリアがスタートします。

「特許庁」「ベンチャー」「フリーランス」の平行ワーク  
ベンチャーで働くと言っても1つ大きな問題がありました。それは、お金です。立ち上げたばかりの会社で売りもないため、基本的に全員が別の仕事で収入を確保しながら活動していました。悩んだ私は、「フリーランス講習会」に参加し、フリーランスライターとしての働き方を模索しはじめます。ただ、未経験のため、安定した仕事を得られないのが現状でした。そこで考えたのが、兼業という働き方です。ご縁があり、特許庁に非常勤職員として採用されました。兼業についてもご理解いただき、ベンチャーの活動をしながら、特許庁、フリーライターとして働き始めます。ライター業が軌道に乗る約2年半、特許庁で働き続けました。

ベンチャーを離れ、専業のライター・編集者へ

30歳目前で、ベンチャーとライターの2軸に絞って活動をスタートします。ベンチャーでは広報・マーケティングとして、メディア露出から学会や展示会の対応まで広く担当しました。ふと、31歳を過ぎたあたりから「わたしが本当にやりたいことは何か？」と考える時間が増えました。RESVOとしての活動も好きだけど、自分にしかできないことは何かと考える中で、一度ベンチャーを離れてみようと思い、2020年3月にRESVOを卒業します。そしてこの4月からは、フリーランスのライター・編集者として活動をしています。ビジネスネームは「スギモトアイ」です。B2Bを中心に執筆からブランディングまで、さまざまなご相談をいただきます。まさに、誰かの想いを届ける中でどのように社会へ貢献できるのか、私にできることは何なのかを考える日々です。今でこそ理学とは離れてしまいましたが、学部時代に培った思考や経験は、卒業後も私を支えてくれています。物理学科の学びを忘れず、自身に与えられた役割を考え、これからも前へ突き進んでいこうと思います。



## 近況報告バトンタッチ

『The journey in a country of possibilities』

SB7 岩瀬 真木子

北里大学の皆様、ご無沙汰しております、お元気ですか？私は、3年前にアメリカのシンシナティ小児病院にて小さなラボを立ち上げ、エピジェネティクス制御機構の基礎研究を行っています。

私が日本にいた当時、女性PI（ラボ主催者）はまだ非常に少なく、私には縁のない未来だと思っていました。しかし、ポスドクとして渡米後、一気に意識が変わりました。アメリカでポスドクは、男女関係なくアカデミア・インダストリーで独立した研究者になることが期待されています。単純なもので、期待されればその気になり、少しずつ独立心が芽生え、PIを志すに至りました。色々なタイプの女性PIが活躍しているのを、身近に見ることができたのも大きかったと思います。独立職の面接は、丸二日間かけて行われる過酷なものでした。これまでの研究の公開プレゼン、独立後の研究計画に関するチョークトーク（ホワイトボードを使ったプレゼン、ディスカッション）、そして残りの時間は、30分ごとに個人面談、そして三食をPI・学生・ポスドクと共にします。ディナーの頃には、疲れ果てて声も枯れ、相槌を打つのが精一杯でした。大変でしたが、多くの研究者とお互いの研究をじっくり話せるのは、またとないexcitingな経験でした。私は、初めて面接に行った現所属と運良くマッチングし、オファーを受けました。

仕事内容は、多岐に渡り、一つ一つ失敗しながら学んでいます。研究計画の立案・遂行、論文執筆、グラント申請、ラボメンバーの面接・雇用・場合によっては解雇（これが心身ともに一番こたえます）、ラボメンバーのマネジメントとメンタルケア、他ラボ大学院生のPh.D. Committee アドバイザー、論文・グラントのレビュー、様々な局面での交渉などなど、経験したことのない仕事がかんたん舞い込んできます。ラボメンバーのキャリアに、プラスにもマイナスにも大きく影響しうる立場にあ

ると理解した時、私に務まるのか、怖くもなりました。しかし、壁にぶちあたるときに、シニアPI達が手を差し伸べてくれ、なんとかここまでやってこれました。大学院生にラボを知ってもらうために、年に4時間だけ授業も引き受けています。初めは、正直いやいややっていたのですが（笑）、学生からの質問やフィードバックがあるとこちらも楽しく、最近はやり甲斐を感じるようになってきました。学生にも、育てられていますね。

現所属のテニュアトラックPIのシステムは、スタートアップとしてNIHのR01グラント1～2個相当の投資を受け、それをもとに成果をだし、R01グラントを2個獲得できたら、テニュア（終身雇用）獲得という流れです。アメリカは、共通機器が充実しているので、実験コストは比較的安いと思います。なので、研究費の大半は、人件費になります。大学院生、技官、ポスドク、そして自身の人件費を捻出するために、テニュア取得後もグラントを取り続けないと生き残れません。そして論文ですが、学生・ポスドク時代のボスが共著者に入ったものは、独立した業績とみなされず、テニュア評価の対象になりません。いかに元ボスと道を分かち、独自の研究プログラムを確立できるかが重要になります。シビアなゲームですが、やはり自分のやりたい研究をラボメンバーと共に勧められる楽しさは、何事にも代え難いものがあります。現在は、多国籍な4人のメンバーと、日々研究の苦楽を共にしています。

最後になりましたが、在学時代に研究者を志すきっかけを作ってくださった、花岡和則先生（発生の授業が大好きでした、いつも親身に進路相談に乗ってくださいました）金子律子先生（外研先で、研究の基礎そして楽しさを教えていただきました）、田村啓さん・中澤麻子さん（頼れる先輩方）に心より感謝いたします。



# 活躍する同窓生

## 『こども実験教室を行って～実りある体験～』

SB4 田村 啓

理学部生物科学科4期の田村啓です。卒業研究時から大学院、博士研究員、そして現在、教員として、理学部分子生物学講座に所属しております。最近、人生のほぼ半分を当講座にいることに気づきました。教員として、研究・教育活動に励んでおりますが、今回、縁あって、こども科学センター・ハチラボ（渋谷区文化総合センター）で開催された小学生向けの実験教室『生き物の設計図DNAの謎にせまる』で講師を務めることができましたので、ご報告させていただきます。2019年3月21日（木・祝）午前と午後で合計2回開催し、小学3～6年生が23名参加してくれました。これまで、高校生や教員向けに生物実験を行ったことはあったのですが、今回初めて小学生向けということで、楽しみであるのと同時に、勝手がわからないことが多くありました。まずは、基本的な生物学の知識や言葉がどこまで使えるかという点はもちろん、説明する際に使用できる漢字でさえ、小学校の学年を調べながら資料作成していきました。我が家の小学校1年生と5年生（当時）の子どもたちの協力は、非常に助かりました。

実験内容は、バナナやイチゴから、染色体DNAを抽出することになりました。必要な試薬類は洗剤、食塩、アルコールなどを利用しました。参加してくれた子どもたちが、また家でも実験してもらえたら、という思いで、安全性も高く、手に入れやすい材料を選びました。作業も、ポイントを抑えれば、20～30分程度で行うことができます。DNA自体は、このように簡単に抽出することができますが、物質として単にモヤモヤと白く地味なものなので、子どもたちが感動してくれなかったら、という不安もありました。そこで、最後に単離したDNAを光らせることができたら思い、安全性の高い染色試薬と自作のLEDライトを用意しました。

実際に、子供たちが会場に入ってから、みんな落ち

着いて、非常に説明や作業がしやすかったです。ハチラボの雰囲気がアットホームなので、子どもたちも居心地がよく、リラックスできているのだと感じました。そのような中で、子どもたちも私の説明をよく聞いて、理解し、実験も終止真剣な眼差しで、取り組んでいました。実験の最後に、光るDNAをみて喜ぶ姿を見ることができ、ホッと安心しました。

子どもたちにとっても、初めての体験でしたが、私にとっても非常に有意義な経験になりました。最初に、材料をつぶしていくところから始まるのですが、『バナナ、もったいないなあ』、『イチゴ、食べたい!』など、子どもたちが率直につぶやき、私も新鮮な気持ちで実験を行うことができました。私が普段行っている研究室での実験では、動物を主に扱っているのですが、『食べたい』なんて思うことはないですから。でも、確かに実験室中にイチゴやバナナの甘い香りが漂い、教室の外で匂いを嗅いだら、料理教室をやっていると勘違いされるほど、いい香りが充満していました。昨今の世の中では、様々な情報がインターネット上に溢れ、調べれば何でもわかる時代です。しかし、この実験を通じて、自分で手を動かして、嗅覚など五感を通じて“感じる”ことの重要性を再認識しました。その結果から、子どもたちの“つぶやき”が聞けたことが、私の大きな収穫でした。

最後になりましたが、この実験教室を開催するにあたり、様々なサポートをしてくださったハチラボセンター長・中馬民子さん、西條友理子さんをはじめ、ハチラボスタッフのみなさまに深く感謝申し上げます。また、理学部同窓会理事・秋本護さんには、このように貴重な体験を与えてくださり、ありがとうございました。そして、予備実験など裏方の支援をしてくれた家族にも感謝しています。



## 理学部事務室より

### ● 2021年オープンキャンパス開催情報

- 第1回 2021年3月14日(日) 10:00～16:00  
オンライン開催予定
- 第2回 2021年7月31日(土)、8月1日(日) 10:00～16:00  
対面開催予定
- 第3回 2021年8月22日(日) 10:00～16:00  
対面開催予定

各研究室、実験室を開放し様々な展示及び体験型実験教室を開催しております。是非お訪ねください。

※日程は変更になる場合があります。

### ● 2021年入試説明会

#### ○入試対策講座・進学相談会開催情報

- 入試対策講座 10月3日(日) 10:00～11月30日(火) 23:59  
動画配信予定
- 進学相談会 10月3日(日) 10:00～16:00  
オンライン開催予定

入試対策講座を学部別に各教科50分に拡大して実施します。各学科の教員による個別相談を実施します。授業内容や就職先など様々な質問にお答えします。

※日程は変更になる場合があります。

#### ○北里祭・入試相談会開催情報

- 2021年11月6日(土)、7日(日) 10:00～16:00  
対面開催予定

模擬講義・個別入試相談を実施します。詳細は北里大学ホームページ (<http://www.kitasato-u.ac.jp/>) をご覧ください。

※日程は変更になる場合があります。

### ● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階となりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。



詳細は下記（学生課）までお問い合わせください。

### ● ハーバード大学との国際交流

理学部では、7月にハーバード大学との国際交流プログラムがあります。このプログラムは2009年度から実施しており、国際的な視野を備えた研究者の育成を目指し、米国ハーバード大学の研究者と交流を深めています。

本プログラムは、派遣・招聘を隔年で実施しており、今年度は残念ながら実施できませんでしたが、昨年度はハーバード大学医学部から4名を同学部に招き、セミナーやミーティング、研究室の見学などを行い、学部生や大学院生がボランティアとなって東京の日帰り観光を自分たちで企画し、招聘者に1日を通して日本文化の紹介を行いました。

### ● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援もあり、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

### ● 理学部公式Twitter

理学部公式Twitterを開始しました。理学部の入試情報や、物理学科・化学科・生物科学科の最新情報・イベント情報などを発信していますので、ぜひご覧ください。



### ● 物理学科模擬授業

主に神奈川県、東京都の高等学校を対象に、5つのテーマをご用意し、出張模擬授業を実施しております。

詳しくは、北里大学理学部 物理学科 スペシャルホームページ ([https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/resea/buturi/phys\\_sp/](https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/resea/buturi/phys_sp/)) をご参照ください。



### お 合 わ せ い 先

理学部入試に関すること	TEL 042 (778) 9172 (入試係直通)	FAX 042 (778) 9953
就職に関すること	TEL 042 (778) 8545 (学生課直通)	FAX 042 (778) 9953
大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)	TEL 042 (778) 9083	FAX 042 (778) 9953

## 【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「資格・就職」から「求人受付NAVI」（企業登録手続きがあります）を通じ求人情報を入力することができますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745  
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

## 同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【同期会や研究室の同窓会を開催予定の方へ】

理学部同窓会では、正会員が同期会や研究室の同窓会（以下、同期会等という）を開催される場合に、当該名簿リストやタックシールの提供、それに通信費用の援助を行う事業を行っています。加えて、平成29年より同期会等の開催を本会ホームページに掲載するサービスを新たに開始しておりますので、是非本制度をご活用下さい。詳しくは理学部同窓会のホームページ (<https://kitasato-rigaku-d.jp/>) をご覧下さい。

### 【理学部パンフレット同封について】

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

### 【同窓会へのメールについて】

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または  
HC6 理学太郎

### 【会報への寄稿について】

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽にご寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

## 編集後記

同窓生の皆さまこんにちは。化学科3期生の中野章代です。理学部同窓会報第24号をお届け致します。ご寄稿頂きました皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。

2020年は、新型コロナウイルスにより皆さまの生活様式が一変する大変な年でした。孫に会いたいのに…、旅行に行きたいのに…、職場の同僚と大人数で飲み会をしたいのに…、色々な〇〇したいのに…という気持ちを我慢しての自粛生活に疲れてしまいますよね。終わりが見えない感染症との闘いは、我々の学祖である北里柴三郎博士も最前線で経験してきたことです。我々同窓生は、北里大学の建学の精神となった博士の言葉「事を処してパイオニアたれ。人に交わって恩を思え。そして叡智をもって実学の人として、不撓不屈の精神を貫け」を、今一度胸に刻む時です。各自が過度に怖がらず正しい知識を持って新しい生活様式に順応し、最前線で新型コロナウイルスと闘う全ての関係者を支援し、科学の世界で活躍しているものは更なる努力をする時です。皆さま何とかこの困難を乗り越えましょう。

## 物理学科生物物理学講座 米田茂隆教授 退任記念講演会開催予定

日時：2021年3月12日(金) 15:00～16:00

場所：L1号館3階 31講義室

演題：「回転対称性境界条件と教員生活」

※日程が変更または中止になることがあります。

## 北里大学理学部同窓会報

発行 2021年1月31日

発行者 北里大学理学部同窓会

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032

E-mail: info@kitasato-rigaku-d.jp

責任者 沼上清彦